

平成24年度教育委員会事務点検評価(平成23年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	11
事務事業の名称	市民総合体育館管理運営事業	担当部課	教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
		電話番号	04 - 2953 - 1111 内線 5711
実施期間	昭和 58 年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施根拠	スポーツ基本法 狭山市民総合体育館条例 狭山市民総合体育館管理規則
	1節 生涯学習の振興		
	施策 43 生涯スポーツの促進	個別計画の名称	狭山市民スポーツ振興基本計画
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、昭和58年に開館し、平成18年度からは指定管理者制度を導入し、平成21年度から公募による指定管理者により管理がなされている。		

2 事務事業の目的・内容

目的	市民の自主的なスポーツ活動等を推進するとともにスポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、もって市民の健康で文化的な生活に資する。		
対象	市内に在住、在学、在勤する者及び所沢市・入間市・飯能市の在住者		
活動内容	平成21年度から公募により新たな民間の指定管理者に移行され、独自の自主事業が活発化に行われ、利用件数及び利用者数が増加している。平成22年度よりトレーニング機器を充実し、教室内容を健康に関するテーマを取り入れ、幅広くプログラムを展開したため、利用件数は28,069件と増加し、利用者数も287,676人となり前年に比較して増加した。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	継続	
環境配慮	各種の大会等に参加する場合には、車に相乗りするとともに、会場を清掃し、ゴミを持ち帰るよう徹底を図っている。		
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値の根拠・考え方
(活 施 動 状 指 標)	利用件数	目標値	件	21,700	26,533	26,400	28,350	指定管理者の変更により21年度に利用者が大幅に増加となったため22年度から前年の実績値に概ね1%増を見込む
		実績値		26,271	26,200	28,069		
		達成率		121.1%	98.7%	106.3%		
	利用者数	目標値	人	237,975	252,648	274,700	290,553	
		実績値		250,147	271,975	287,676		
		達成率		105.1%	107.6%	104.7%		
(成 果 指 標)	アリーナ利用率	目標値	%	78.1	80.0	85.0	83.3	過去3年間のアリーナ利用率の平均に1%を加算
		実績値		75.4	84.0	88.1		
		達成率		96.5%	105.0%	103.6%		
	目標値							
	実績値							
	達成率							

4 事業費

区分		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
経費	直接費	予算額	千円	42,200	42,125	42,125	42,055
		決算額	千円	42,200	42,123	42,125	
	財源内訳	国県支出金	千円				
		その他特定財源	千円				
		一般財源	千円	42,200	42,123	42,125	
	人件費	従事職員数	人	0.20	0.20	0.20	
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	1,839	1,798	1,801	
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	44,039	43,921	43,926		
効率性指標	指標名	利用者数	人	250,147	271,975	287,676	※1単位当たりの経費
	単位コスト	利用者一人当たりの経費	円	176	161	153	

5 事務事業の評価

◆ 第一次評価 (担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、多くの市民に利用され、市民スポーツの振興に大きく寄与している。
		4	
	有効性	5	平成21年度から公募により新たな民間の指定管理者に移行、独自の自主事業が活発化され、引き続き健康づくりを第一とした事業展開を実施したため利用件数も増加し、利用者数についても年間で15,701人の増加となった。
5			
効率性	5	平成21年度から公募により新たな民間の指定管理者に移行され、コストの効率化が図られた。また、引き続き利用環境の整備と運営スタッフの強化を図り、効率的な施設運営がなされた。	
		< 5段階評価 > 5 : 極めて高い 4 : 高い 3 : 普通 2 : 低い 1 : かなり低い	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
今後の方向性	市民総合体育館は、昭和58年に開館して以来、約30年が経過しており、施設が老朽化していることから、利用環境の向上を図るため、施設の改修等を計画的に実施していく。また、平成21年度から公募により民間の指定管理者に移行しているが、今後も同様の管理体制を継続し、より一層の効率化を図っていく。		

6 その他(学識経験者の意見等)

利用件数、利用者数が増加している。また、利用者一人当たりの経費の削減が進んでいる。市民にとって魅力ある施設となってきたと考えられる。